

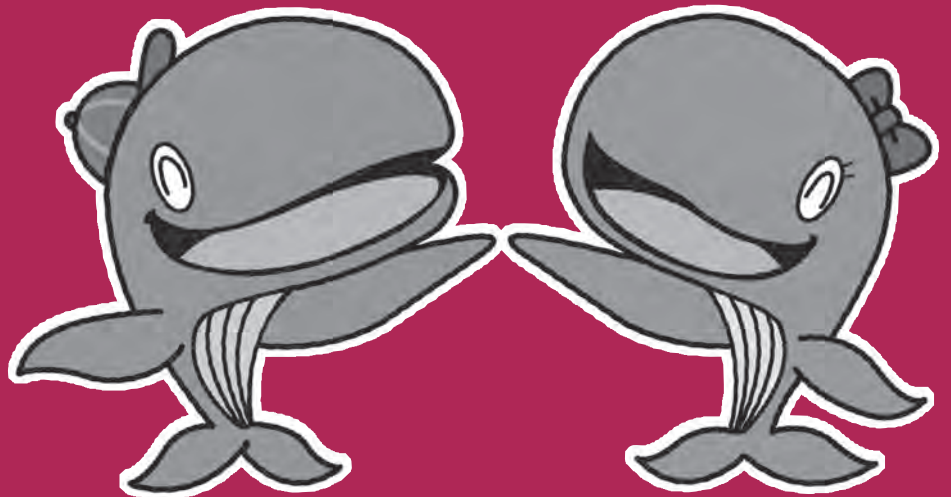
はーい！

男と女が共に歩むための情報誌

# Hi,あきしま

vol.44

2017.10



## 特集

■「家事」に「子育て」そして  
「個性を生かし」地域で活躍する  
ママさんたち

- 昭島市男女共同参画プラン  
計画前半期の実績と平成27年度評価の報告（概要）
- 昭島散歩 龍津寺南のハケの道
- INFORMATION

聞かせて

特集

# 「家事」に「子育て」そして「個性を生かし」 地域で活躍するママさんたち

～夫婦の相互理解と思いやり～



今回は、市内の子育てグループで活動している皆さんに座談会形式でママさんたちの活躍状況、家庭の中で普段思っていること、そして自分自身の変化などを聞かせていただきながら、最近の男女共同参画事情を探ってみました。



私が「曲げない」こと。  
それは…

**Tさん**  
(みっけ!)



「自然の中で子育てを楽しむサークル たけのこ」(以下、「たけのこ」)から、「ちびっこクラブ」スタッフ、そして今年「みっけ!」立ち上げへ。パワフルでいられる秘訣はなんだろう?

あの時期に関わって  
くれたのは助かったな…

**Hさん**  
(ママRing)



児童センターで声をかけてもらったことをきっかけに、「たけのこ」での活動が始まり、その後「どれみdeぱれっと」、そして「ママRing」へ。イキイキされているそのわけは?

先輩ママが我が子を抱っこ。  
その時、肩の荷がおりて。

**Wさん**  
(ミーナ友の会)



「家にこもりがちになっていた私を心配し、夫が見つめてくれたのが「たけのこ」でした」そこから始まり、「ミーナ友の会」へ。今後は、逆パターンに発展していきそうな気配が?

偶然!?

みなさん、はじめの一步は「たけのこ」から?  
各グループと「たけのこ」の紹介は5ページへ!

はじめの一步。  
それぞれの「ご家庭」では

**T**.. 我が家は、小5の娘と小2の息子、夫と私の4人家族です。

そこそそ親子サークル「みっけ!」を立ち上げたばかりです。

もともと子どもが小さい時に、子育てグループ「たけのこ」に入っていて、そこそそびつて子育てにとってすごくいいな、と思っていました。

下の子が幼稚園に入って昼間手が空いた時に、「ちびっこクラブ」のスタッフとして月に3回活動するようになりました。そこで一緒にやっていたスタッフの方から声をかけられたのがきっかけで、今年から「みっけ!」としてそこそそびの活動を始めました。

**H**.. 私も「たけのこ」卒です。  
我が家は、中学生の子と私と夫とネコで暮らしています。子どもが産まれてすぐ仕事に復帰しましたが、子どもが1歳半くらいの時に私が体調を崩し、辞めました。

結婚して昭島に来たため、友達がおらずどうしようかと思った時に、遊びに行った児童センターで「たけのこ」の方から、声をかけていただき、「たけのこ」に入りました。

子どもが2年保育で幼稚園に入った後、今度は、児童センターの方から音楽遊びをやってみないかと声をかけてもらい、同じ「たけのこ」卒のお母さんたち3人で「どれみdeぱれっと」と

いうグループを始めました。

その後、公民館の子育て講座出身の方たちが立ち上げたグループと合流し「ママRing」となり、11年目に入りました。現在は6名で活動しています。

**W**.. 私には、夫と小5と小3の子がいます。基本的に夫が仕事、私が家事育児、という役割分担です。

両実家が遠いため、家のことは私がやるしかないと思ってきました。私が、2才と0才の子どもを抱えて

川原で活動している「たけのこ」に入ったきっかけは、もともと夫の方から、子育てグループがあるから入ってみたらと勧められたからでした。

夫は私が子育てで引きこもりになるのではないかと心配したようで、市の広報などを調べて、子育てグループを探してくれました。

それまでずっと家で子育てしていたので、先輩ママが0才の子を抱っこしてくれた時、肩の荷がおりたようにホッとしたのを覚えています。

その後、「たけのこ」のお母さんたちから情報を貰い、幼稚園を決めました。幼稚園では、バングラデシユの寺子屋支援のためにバザーなどをしているボランティア団体に入りました。

子どもたち2人も通園したので、活動は4〜5年続きました。

卒園後、卒園生のお母さんが立ち上げたバングラデシユの子どもたちと共に歩む会「ミーナ友の会」に入り、現在まで続いています。



座談会の様子

**みなさんが大事にしていることは？**

**T**..「ちびっこクラブ」のスタッフを始めた時、夫は当初、忙しくなるだけだからやらなくていいのではないかと言いました。

下の子がよく熱を出す子だったので、夫は心配して反対したようです。でも私は、人の役に立てるのは嬉しいことだし、そういうきっかけをもらえるのに応えたくて、始めました。だんだん子どもも手を離れて、「みっけ！」の活動もできるようになりました。

ただし、「家庭が基本」と私が決めて、家事も手抜きをしないようにしています。子どもたちも夫も外に出てがんばって、疲れて戻ってきて家庭で充電して、また外に出ていくわけですし、その家庭を守っているのは自分、という信念です。

**H**..夫は、私が何をしているのか、初めはよく分かっていなかったと思います。次第に、ボランティアで活動しているのだと理解してくれるようになりました。

外に出て生き生きと活動するために家庭がベースという考えは、私も同じです。

家事は基本的にはきちんとやりたいと思っていますが、できない時もあります。そういうときは、手抜きもします。

自分が無理をしたら、自分がやっていることを自分が否定することになってしまいますよね。

そんな時も、夫は特に何も言いません。家事ができていなくてもあまり気にならないようですし、本人は家事が苦手で、手を出しても私がやり直してしまうのもわかっているのかも。お願いしたことは、やってくれますね。

**活動を始めてからの、ご自身の変化はありますか？**

**T**..活動が始まる前はドキドキします。が、始まってしまえば共感してくれる方や活動に参加して下さる方の期待に応えられるようがんばりたいという気

持ちになります。それに私自身もそこあそびが好きなもので、楽しんでやっています。

**H**..活動の中で人と関わることが多いと、あちこちで関わりができてきて、忙しくなっています。

時々、中途半端かなあと思うことはありますが、充実している毎日を過ごせていると思います。

子どもは現在、思春期真っ只中ですが、私の後ろ姿を見てくれているのではないかと思います。

「ママ Ring」のおかげでいろいろな活動が増えて、他の人から我が子も育ててもらっていると常日頃感じています。

**W**..今では子どもも会の活動などいろいろ広がってきました。

子ども会の活動を見ていると、お父さんたちが子どもたちにもいろいろ教えられることもあるので、いい経験になるのではないかと思います。

今では、夫も地域に連れ出していきたいと思うようになりました。



「みっけ！」の活動の様子

**お子さんが小さくて大変な時の、ご夫婦の工夫は？**

**H**..特に話し合っていないませんが、おそらく、とても私の行動を見ていてくれたのだと思います。

そして、買い物や休日などの様々な場面で、私が息を抜くところを作ってくれていました。

子どもが3ヶ月くらいの時に、一度仕事に復帰したので、子連れで出勤するなどかなり大変でした。

その時、家では夫がずいぶん家事・育児をやってくれました。

料理はできませんが、子どもの面倒を見てオムツを替えてくれたり、お風呂掃除や洗濯をしてくれたり、私はそれほどしんどかった記憶はありません。

やはり母親の方が子どもと長い時間一緒にいるというのがあります。あの時期に関わってくれたのは助かったなと思っています。

**W**..夫は人見知りなのか、人と話したり一緒に動いたりするのは苦手なようです。それでも、家では「たけのこ」の影響か、キャンプなどもやるようになりました。

**T**..夫は、自分の面倒も見られないような人でした。

子どもが小さい頃は、子どもは可愛いと思うけど、その世話をしたり家事の手伝いをしたりというところに考えが全く及んでいなかったようでしたので、私は諦めていました。



「ママ Ring」の活動の様子

でも、今ではずいぶん変わりました。いろいろ大変なことを乗り越えて、夫婦をやってきて良かったと思っています。夫とは、もう身体は成長しないけれど、人間としてお互い少しずつ成長しているよね、と話しています。夫にとっては、休日は自分の身体を休める日なので、わざわざ土日にやっている「たけのこ」のファミリーデーに参加することはなかったです。私もそれはそれで良いと思っています。夫が忙しくて疲れているのはわかるので、休んでもらいたい、「目の前の子育てを頑張りたいので」「たけのこ」で炊飯やりますよ。」っていう感じです。

**相互理解も素晴らしい、みなさん、とても楽しんでいらっしやるようですが？**

**W** いろいろ関わりが増えていくと、大変だけど関わるのが楽しいと思うようになりました。自分が活性化される感じがします。

**H** 子どもが産まれたことによって、私も夫も成長していると感じます。たとえば、子ども会ですが、最初は夫の方が先に関わり、そのあと私も参加するようになりました。

このような地域での活動は、学校での交友の広がりなど、様々な刺激があって、私は楽しかったです。家族でこうした地域の活動に参加することによって、夫も地域に入りやすくなったと思います。

今、夫はソフトボールのチームに入って活動しています。お互いに地域での関わりができて良かったと思っています。

**T** 確かに子育てという目的があったて、お互いが助け合おうという、結果ができていく感じがします。

**今、そして、これからについて思うことは？**

**T** 子どもが産まれて、正直でいなければいけないと思うようになりました。そのためには、ありのままの自分で子育てすることが、すごく自分が楽に

なることではないかと思っています。

そして自治会や子ども会など地域の中で、未熟な私を認めてもらいつつ、自分の子どもも育ててもらえるのがとてもありがたいと思っています。

**H** 以前は今のようない活動をする事になるとは全く思っていなかったわけですが、子育ての活動から始まり、地域の活動、そして防災・防犯活動など家族として生きていく上での話が出てきています。今まで私がやってきたことは間違いはなかったと、今日お話しして改めて感じています。これからも地域との繋がりを大事にしていきたいと思っています。

**W** 今では、学校のPTA活動もやっていますので、そちらが一段落したら、今度は地域の活動にも入りたいと思っています。

私は長女が1歳のときに昭島に引っ越してきたのですが、今やっている活動は、その当時のことに繋がっているのだなと感じました。

今回の座談会では、家庭や家族関係のことについて、他のお家のことをお聞きして、いろいろ発見もあり、楽しかったです。

**T** それぞれスタイルが違うというのが面白いですね。家庭も、それぞれの家で違っていいんだと改めて思いました。

夫婦や家族のスタイルはそれぞれあり、更に、ご家庭ごとに常に変化していることを今日は実感しました。

★座談会を終えて★

市内には子育て中のママさんたちのグループがたくさんありますが、今回お話を聞いた方たちは、もとは「たけのこ」という子育ての仲間の中で様々な経験、悩みを共有しながら育ったママさんたちでした。そのママさんたちの中から「みつけ！」のように自らグループを立ち上げ仲間を集め、家事を行いながらグループの運営管理まで頑張っているママさんや、「ママ Ring」のように仲間と立ち上げた例もあります。また、妻の子育ての大変さを見た夫が子育てグループを探し、妻に入会を勧めるなど夫婦で子育てに取り組んでいました。子育てグループ内の活動にとどまらず地域のボランティア活動まで輪を広げて活動しているご夫婦もおられるなど、まさに男女共同の活動を垣間見ることができました。

活動が自分の子育てからグループ内の子どもたちを相互にケアし、また、新しいグループを立ち上げ、仲間を増やし、さらにはグループの外での地域ボランティア活動までママさんたちの活動が拡大してきました。

このような素晴らしい活動は夫婦の相互理解、共同の活動があったことでできたことです。

市では、「男女共同参画プラン」を進めることにより、男女共同の活動を応援していますが、このような相互理解に基づくご夫婦こそが目指す姿なのではないでしょうか。



### ●ママ Ring●

子育て支援を目的に、ママたちで結成した音楽ユニットです。  
○親子音楽あそび「おんたいむどれみ」公演の開催（毎月1回、児童センターぱれっとにて）  
毎回100名近くのお客様に参加していただいています。  
○ママと育児を応援するオリジナルソングの制作・発表、CD制作・販売  
○幼稚園、保育園、子育てサークルなどでの出張公演などなど・・・  
ホームページ <https://mama-ring.jimdo.com/>  
公演依頼等は [kyonkyon-okyou@wcm.ne.jp](mailto:kyonkyon-okyou@wcm.ne.jp) へ



### ●そとあそび親子サークル みっけ!●

月2回金曜日10時～13時活動。  
拜島自然公園、根川緑道など、近隣の自然の中でスタッフと一緒に遊びます。  
活動の様子は、ブログでもご覧いただけます。  
ブログアドレス  
→ <http://ameblo.jp/mikke2017>  
体験もできますのでお気軽にお問合せ下さい。  
メールアドレス  
→ [soto.asobi.mituke.753@gmail.com](mailto:soto.asobi.mituke.753@gmail.com)  
お外で心と身体をたくさん使って遊びましょう！  
1～4歳のお子さんと保護者の方お待ちしております！！



## 子育マゲループ紹介



### ●自主保育たけのこ●

多摩川での水遊びをメインに、自然の中で子どもたちをのびのびと遊ばせているサークル。タケノコ取りや桑の実つみ、夏のデイキャンプなど四季おりおりのイベントやママだけのリフレッシュタイムも充実！  
月1回の野外炊飯は、パパも参加してBBQや流しそうめんなどを楽しんでいます。アットホームで居心地のよさが魅力です。お友達募集中。一緒に楽しみましょう！

たけのこブログ <http://ameblo.jp/takenokoakishima/>  
連絡は [takenokoakishima@gmail.com](mailto:takenokoakishima@gmail.com) にメールを。



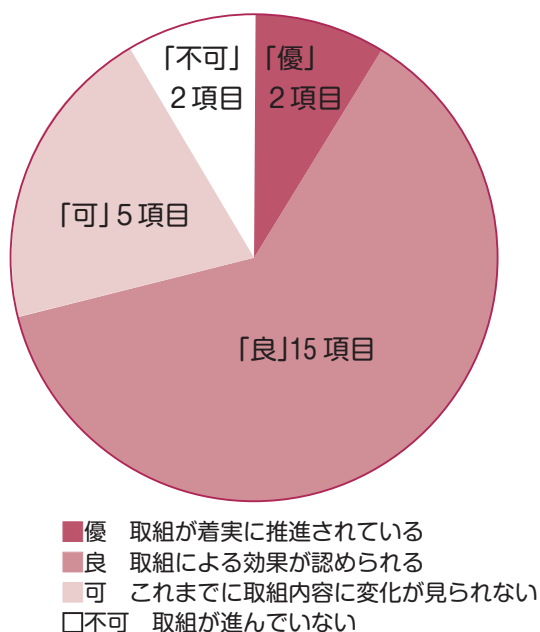
### ●ミーナ友の会●

ミーナ友の会（正式名称：バン格拉デシュの子ども達と共に歩む会）は、昭島幼稚園卒園児の母親が中心に構成されており、バン格拉デシュの聴覚障がい児の教育と、職業訓練校運営を支える為、現在、それぞれの学校へ年間80万円の支援を続けています。その内訳は年会費、イベント及びバングラ小物販売の収益、街頭募金活動、ご寄付によるものです。

<年内の主な活動>  
11月4日・・・バン格拉デー（於：昭島幼稚園）  
11月25日・・・チャリティコンサート（於：昭島教会礼拝堂）  
ホームページ <http://i49680.wixsite.com/minatomonokai>  
フェイスブック <https://www.facebook.com/minatomonokai/>



## 2 平成27年度の施策推進に対する評価結果（平成28年度に評価を実施）



「昭島市男女共同参画プラン」の平成27年度進捗状況の評価については次のとおりです。

評価は当初の5段階評価を当該年度から「優」「良」「可」「不可」の4段階に改めたことから、厳しい評価となりました。平成27年度の評価割合はグラフのとおりです。

なお、推進項目数は全体で256件ですが、それをまとめた主要施策24項目について評価しました。

この中で、「不可」評価となった「市内在住外国人に対する男女共同参画意識の普及」および「女性のエンパワーメント等を目的として講座等を開催し女性の人材育成と活用を促進する」施策については、より一層の取組推進が求められます。

## 3 今後の課題の整理

過去5年間の取組に対する評価および平成27年度に対する評価と併せ、推進委員から今後の課題について以下の通り意見が寄せられました。

### 〈課題1〉ワーク・ライフ・バランスの取組強化

この項目は、男女共同参画社会の実現に直結する市の重要課題でもあり、育児や介護を分担しながら一人ひとりが人間らしく生きることを目指すものであります。

まず市が率先して取り組むことが民間企業での取組を加速させるものと考えられますが、なによりも「ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業の認定・公表」など、市内事業所に対する積極的な働きかけを期待します。

### 〈課題2〉男女共同参画センターの整備

同センターの整備により、各種相談機能や情報提供機能の充実、また活動や交流の場としての利用拡大など、男女共同参画事業の取組が大きく前進することを期待します。

### 〈課題3〉男女共同参画事業の認知度を高める取組

全体として市民の認知度が低く、さまざまな取組が効果に繋がらない面があります。

情報誌「Hi, あきしま」の紙面充実、市ホームページへのコンテンツの取り上げなど広報活動に一層の力を傾注されることを期待します。

### 〈課題4〉評価方法の見直し

これまでも、目標達成に向けて推進状況報告書の見直しを重ねてきましたが、市としても達成段階が把握できるよう、また市民にもわかりやすい資料となるよう、今後も継続的な見直しをお願いします。

この評価報告書を踏まえて、編集委員としては、「プラン」の認知度を高めるために、本誌の果たすべき役割が極めて重要であることを改めて認識しました。

本誌が市民の皆様に広く読んでいただけるよう、今後とも努力していきます。

## 昭島市男女共同参画プラン

# 計画前半期の実績と平成27年度評価の報告(概要)

市の「男女共同参画プラン」は、男女共同参画社会の実現を目指して平成23年度から32年度までの10年計画で進められています。

市では、昭島市男女共同参画推進委員会を設置し、施策の推進状況を多方面から検証し、その結果を年次評価報告書としてまとめています。平成28年度はプランの前半期評価も併せて実施しました。ここでは平成27年度評価報告書の概要を紹介します。

## 1 市民意識調査の結果および5年間の取組実績

下表は、「男女共同参画プラン」策定時に掲げた11の目標指標の達成状況を表しています。着色部分が市民意識調査の結果を反映したものです。この5年間の取組について、市民の皆様はどのように認識され、実績はどうであったのかを示しています。

これを見ると、過去5年間の取組の結果、プラン策定時に比べ諸施策の推進が図られ、一定の成果をあげています。

一方、市民意識調査の結果は逆に目標値を下回っており、未達の項目が多くなっている状況で、プラン策定時より現状値が下回っている項目もありました。

特に、『「昭島市男女共同参画プラン」を知っている人の割合』を見ると、現時点で10.3%に過ぎません。この「プラン」は男女共同参画事業を進める上で最も基本となるものであることから、詳細は知られていなくても、その基本的位置づけはより広く知っていただく必要があると思われます。

また、男女平等意識の根幹ともいえるDV関連の認知度もようやく3割を超えたところです。男女の間で、どのような相互関係がDVに当たるのかの認識はとても重要なことです。日ごろのお互いの言葉遣いがDVに該当することも往々にしてあるのです。

男女共同参画プラン 11の目標指標の推移

施策の方向		目標指標	プラン策定時	現状値	目標値 (平成27年)
目標Ⅰ	人権が尊重される社会づくり	* 「男女共同参画社会基本法」を知っている人の割合	9.3%	16.6%	20.0%
	男女平等意識の醸成	* 男女の地位について「対等になっている」と思う人の割合	[女性] 39.9%	33.8%	45.0%
			[男性] 50.0%	45.8%	55.0%
男女平等教育・学習の推進	講座等における男性参加者率	12.7%	19.4%	20.0%	
目標Ⅱ	あらゆる暴力の防止	* 「DV防止法」を知っている人の割合	33.7%	31.1%	40.0%
	配偶者等からの暴力などによる被害者への支援体制の確立	* DVの被害を受けた人のうち、「相談した」人の割合	[女性] 33.0%	32.8%	50.0%
			[男性] 2.9%	27.6%	10.0%
生涯を通じた男女の健康支援	健康教育事業参加者数	[女性] 1,257人 [男性] 221人	987人 153人	1,330人 270人	
目標Ⅲ	働く男女の就労環境の整備	* 「仕事と家庭生活をともに優先している（両立）」人の割合	[女性] 21.1% [男性] 29.1%	18.5% 20.3%	25.0% 32.0%
	仕事と家庭生活の両立支援	保育園の定員数	2,467人	2,783人	2,530人
		学童クラブの定員数	940人	1,359人	1,050人
目標Ⅳ	政策・方針決定過程への男女の参画	審議会等における女性委員の割合	29.2%	26.7%	35.0%
	地域社会への男女の参画	自治会長への女性の参画率	5.1%	7.0%	8.0%
	計画の推進	* 「昭島市男女共同参画プラン」を知っている人の割合	6.0%	10.3%	15.0%

※プラン策定時の数値は、平成21年度実績又は平成22年4月1日時点

※現状値の数値は、平成27年度実績又は平成28年4月1日時点、なお目標指標の\*記号の数値は、平成27年度実施の市民意識調査による。

# 昭島散歩



## 龍津寺南のハケの道(下の川)



啓明学園下から東に向かってレンガ畳みの散歩道が続きます。

脇には、多摩川の流れを導いた東京都水道局拝島原水補給ポンプ所からの余水と、龍津寺南のハケからの湧水が澄んだ流れを作り、大きな緋鯉がゆったりと漂い、小魚がきらきら水中に煌きます。

岸边には四季折々、桜が咲き菖蒲が香り、緑陰に涼風が流れ秋の紅葉は見る者の心を柔らかく解きほぐしてくれるようです。

レンガ畳みの道が終わり、左へ折れると、正面に大日堂、拝島大師の麓が見えます。1 km程度で、水辺の散歩と寺社参詣ができる絶好な散歩道です。パートナーとともに散策してみたいかがでしょうか。



## INFORMATION

### <男女共同参画講演会>

#### 「個人も組織も成長するワーク・ライフ・バランス ～働き方、変えてみませんか?～」

講師：(株) 佐々木常夫マネージメント・リサーチ代表  
佐々木 常夫さん

日時：平成29年11月4日(土)午後1時30分～3時30分

場所：昭島市役所 市民ホール

定員：100名(申込順) 保育あり(2歳以上の未就学児5人、申込順、10/20までに要申込)



### <男女共同参画セミナー>

#### 「SNS・ネットトラブルから見るデートDV」

講師：NPO法人レジリエンス こころのケア講座ファシリテーター  
栄田 千春さん

日時：平成29年11月15日(水)午後1時30分～3時30分

場所：あいぼっく 視聴覚室

定員：30名(申込順) 保育あり(2歳以上の未就学児5人、申込順、11/3までに要申込)



いずれも**参加費無料!**

申込みは、右のいずれかの方法で企画政策課まで  
(講演会またはセミナーの申込みと明記してください)

TEL 042-544-5111 (内線2373)

FAX 042-546-5496

メール danjyosankaku@city.akishima.lg.jp



### 「Hi, あきしま」編集委員の募集

「Hi, あきしま」は市民の編集委員が主体となって企画、取材、原稿の執筆などを行っています。今年度の編集委員を随時募集していますので、興味のある方は企画政策課までお声掛けください!

☆「Hi, あきしま」についてのご意見・ご感想などは、下記までお寄せください。

\* 郵送 = 〒196-8511 昭島市田中町1-17-1

昭島市企画部企画政策課 男女共同参画担当

\* ホームページ = 昭島市トップページ「市民の声」→「ご質問・お問い合わせ」を選択し、送信してください。

男女共同参画について市のホームページはこちらから

